

平成 18 年 6 月 12 日

コープ野村南流山弐番街
居住者 各位

コープ野村南流山弐番街管理組合
理事長 市川 誠

南流山弐番街のエレベータについて

東京・芝の賃貸住宅「シティハイツ竹芝」で6月3日、高校生がエレベーターに挟まれて死亡する事故がありました。この事故のニュースが連日流れていることから、「うちのマンションのエレベータは？」とご心配の方もおられると思います。事故の原因は当局で調査中のため、その発表を待たねばなりません。そこで当マンションとの比較を報告します。参考としていただければ幸いです。

表 シティハイツ竹芝とコープ野村南流山弐番街のエレベータの比較

項目	シティハイツ竹芝(港区住宅公社)	コープ野村南流山弐番街
建物概要	地下2階・地上23階建の複合施設 (使用開始:1998年4月)	地上9階建の集合住宅 (使用開始:1983年3月)
エレベータの構造	ロープ式。積載量1850kg、28人乗	ロープ式。積載量600kg、9人乗
エレベーター製造	シンドラーエレベータ	三菱電機
エレベーター管理会社	年度ごとに保守点検会社を選定。 2004年度:シンドラーエレベータ 2005年度:日本電力サービス 2006年度:エス・イー・シーエレベータ	三菱電機ビルテクノサービス。 ・ 建物の使用開始より同一会社。 <u>シティハイツ竹芝で起きたような事故は過去に起こしたことはない。</u>
履歴	2003年12月以降、到着時の段差発生、異音の発生、閉じ込めなどのトラブルが多発。	2003年11～12月にエレベータ・リニューアル工事を実施し、モータ、エレベータ制御盤、制御機器などを交換。
点検の状況など	月2回点検。	2003年の工事でエレベーターリモートメンテナンスに対応した「エレファースト」を導入し、24時間監視でエレベータの状態を情報センターに伝え、予防保全。カゴ内のインターフォンとカメラで遠隔閉じ込め救出にも対応。3ヶ月毎に有人点検実施。

参考：blog.nikkeibp.co.jp/mansion/archives/2006/06/post_422.html (日経 BP 社)